

滋賀県民総スポーツの祭典 滋賀県民体育大会の部

## 第72回滋賀県民体育大会 高校の部

# 柔道競技

期 日 : 令和元年11月16日(土)

令和元年11月17日(土)

場 所 : 滋賀県立武道館(大津市)

参加校	男子	10校	76名
	女子	6校	19名



主 催 : 滋賀県 滋賀県教育委員会  
大津市 大津市市民部

主 管 : 滋賀県民総スポーツの祭典実行委員会  
滋賀県柔道連盟 滋賀県高等学校体育連盟  
滋賀県高等学校体育連盟柔道専門部

# 滋賀県民体育大会(高校の部) 栄光の記録

## 男子団体

	1位	2位	3位	
昭和41年	伊香	大津商	甲賀	長商工
昭和42年	大津商	伊香	守山	日野
昭和43年	伊香	甲賀	近江	日野
昭和44年	伊香	瀬田工	八幡商	八日市
昭和45年	伊香	大津商	比叡山	甲賀
昭和46年	伊香	甲賀	比叡山	守山
昭和47年	守山	伊香	比叡山	能登川
昭和48年	伊香	守山	比叡山	虎姫
昭和49年	伊香	比叡山	膳所	石山
昭和50年	比叡山	彦根東	伊香	彦根工
昭和51年	比叡山	伊香	彦根東	水口
昭和52年	比叡山	彦根東	伊香	彦根工
昭和57年	比叡山	伊香	堅田	膳所
昭和58年	比叡山	伊香	愛知	長商工
昭和59年	比叡山	伊香	長商工	彦根東
昭和60年	比叡山	長商工	高島	伊香
昭和61年	比叡山	伊香	堅田	膳所
昭和62年	高島	近江	伊香	膳所
昭和63年	比叡山	高島	近江	膳所



昭和53～56年は全国総体、国体のため中止

	男子団体				女子団体					
	1位	2位	3位		1位	2位	3位			
平成 元年	比叡山	近江	草津	高島						
平成 2年	近江	比叡山	草津	石山						
平成 3年	近江	比叡山	草津	八幡工	草津	伊香	石山	水口		
平成 4年	近江	比叡山	草津	長商工	伊香	比叡山	高島	草津		
平成 5年	近江	草津	高島	比叡山	比叡山	草津	守山	石山		
平成 6年	近江	比叡山	長商工	草津	比叡山	伊香	草津	玉川		
平成 7年	近江	草津	伊香	比叡山	草津	比叡山	八日市	伊香		
平成 8年	近江	草津	比叡山	高島	比叡山	伊香	草津	長商工		
平成 9年	比叡山	草津	近江	伊香	草津	比叡山	伊香	近江		
平成10年	近江	比叡山	草津	高島	草津	伊香	比叡山	近江		
平成11年	近江	比叡山	高島	伊香	草津	伊香	比叡山	近江		
平成12年	近江	草津	比叡山	伊香	草津	伊香	比叡山	近江		
平成13年	草津	近江	比叡山	伊香	草津	比叡山	伊香	近江		
平成14年	近江	伊香	草津	比叡山	比叡山	草津	近江	安曇川		
平成15年	草津	近江	瀬田工	伊香	II部	草津	比叡山	近江	伊香	II部
平成16年	近江	草津	瀬田工	伊香	草津東	草津	近江	伊香	比叡山	能登川・河瀬
平成17年	比叡山	近江	瀬田工	伊香	安曇川	草津	比叡山	近江	伊香	—
平成18年	近江	瀬田工	草津	伊香	玉川	草津	伊香	近江	比叡山	—
平成19年	瀬田工	比叡山	近江	伊香	甲南・水東・能登川	草津	伊香	近江	比叡山	—
平成20年	比叡山	近江	伊香	草津	安曇川	比叡山	草津	伊香	近江	—
平成21年	団体戦の実施はせず									

# 滋賀県民体育大会(高校の部) 栄光の記録

## 個人戦

	-55kg級	-60kg級	-71kg級	-86kg級	無差別級										
昭和57年	個人戦なし														
昭和58年	北野(比)	内田(比)	尾田(比)	上田(伊)	今藤(比)										
昭和59年	北野(比)	内田(比)	大橋(伊)	西村(比)	内貴(比)									無差別級	
昭和60年	西堀(比)	鈴木(比)	山田(比)	西村(比)	内貴(比)									福田(滋女)	
昭和61年	久保(堅)	堀井(膳)	鈴木(比)	広部(伊)	橋本(伊)									中嶋(比)	
昭和62年	青木(比)	北村(膳)	西堀(比)	古川(高)	曾我(彦東)									朝比奈(比)	
昭和63年	-60kg級	-71kg級	-86kg級	-95kg級	無差別級			-48kg級	-52kg級	-56kg級	-61kg級	-66kg級	無差別級		
	青木(比)	佐野(膳)	小椎尾(比)	天川(比)	大構(高)			森(高)	朝比奈(比)	中井(高)	小西(石)	田中(比)	桐畑(玉)		
平成 元年	青木(比)	佐野(膳)	小椎尾(比)	生駒(近)	藤田(高)			今宿(愛)	古川(石)	黒島(石)	植村(玉)	田中(比)	桐畑(玉)		
平成 2年	馬場(比)	奥村(近)	杉本(比)	磯部(近)	林(草)					内田(石)			桐畑(玉)		
平成 3年	-60kg級	-71kg級	-86kg級	-95kg級	無差別級			-48kg級	-52kg級	-56kg級	-61kg級	-66kg級	-72kg級	+72kg級	
	遠藤(比)	奥村(近)	芳森(近)	林(草)	福沢(草)			岩田(比)	青木(比)	川上(水)	鶴飼(水)	坂下(草)	該当者なし	矢野(伊)	
平成 4年	遠藤(比)	峰松(比)	芳森(近)	浜崎(比)	福沢(草)			岩田(比)	青木(比)	杉江(比)	吉田(比)	坂下(草)		澤井(高)	
平成 5年	磯部(八)	芳森(近)	門田(比)	大坪(草)	山田(近)			岩田(比)	山田(八)	土屋(草)	吉田(比)	坂下(草)	中原(伊)	澤井(高)	
平成 6年	米澤(虎)	村居(近)	川並(商工)	大坪(草)	山田(近)			際田(草)	山田(守)	杉江(比)	吉田(比)	吉田(比)	中原(伊)	西浦(玉)	
平成 7年	個人戦は実施せず														
平成 8年	米澤(伊)	米富(比)	芳森(近)	西川(近)	上野(近)			藤木(比)	服部(伊)	岡田(比)	清水(比)	中澤(伊)	福沢(草)	今村(草)	
平成 9年	山口(近)	米富(比)	芳森(近)	堀(近)	宮島(草)			藤木(比)	際田(草)	村路(近)	藤村(草)	中澤(伊)	東野(伊)	該当者なし	
平成10年	-60kg級	-66kg級	-73kg級	-81kg級	-90kg級	-100kg級	+100kg級	-48kg級	-52kg級	-57kg級	-63kg級	-72kg級	-78kg級	+78kg級	
	米富(比)	上田(草)	中原(伊)	須田(近)	古株(草)	堀(近)	中島(草)	大伴(草)	際田(草)	松田(比)	磯谷(草)	東野(伊)	該当者なし	佐野(安)	
平成11年	米富(比)	村西(近)	村川(近)	須田(近)	山中(近)	山田(近)	平田(比)	大伴(草)	際田(草)	山中(草)	松田(比)	平瀬(草)	鳥居(草)	吉田(伊)	
平成12年	米富(比)	三上(比)	村川(近)	村居(近)	大坪(草)	伊藤(近)	松原(近)	大伴(草)	米富(比)	山中(草)	山口(近)	平瀬(草)	鳥居(草)	吉田(伊)	
平成13年	川端(比)	山中(近)	田中(近)	藤川(比)	大坪(草)	岡田(草)	森本(近)	大崎(比)	米富(比)	米澤(伊)	大迫(近)	平瀬(草)	鳥居(草)	馬籠(草)	
平成14年	松尾(草)	河端(比)	尾崎(比)	藤川(比)	鈴木(近)	河井(草)	藤原(伊)	大崎(比)	米富(比)	藤川(比)	梅本(近)	該当者なし	門脇(草)	西川(虎)	
平成15年	高橋(近)	浜口(草)	山中(近)	下川(伊)	松宮(比)	中西(草)	鈴木(近)	浅香(草)	大崎(比)	藤川(比)	車谷(比)	中西(高)	甲斐(草)	門脇(草)	
平成16年	飯島(比)	高橋(近)	須田(近)	下川(伊)	村野(草)	中田(近)	奥村(瀬)	広川(草)	浅香(草)	高谷(近)	藤川(比)	教野(伊)	門脇(草)	甲斐(草)	
平成17年	平成17年度～20年度までは個人戦は実施せず														
平成21年	60kg	73kg	81kg	90kg	無差別	段外		52kg	70kg	無差別					
	平井(草)	太田(近)	藤本(近)	日比野(比)	脇坂(伊)	清水(綾)		中西(比)	田中(比)	近藤(伊)					
平成22年	平良(比)	木村(近)	藤本(近)	安田(近)	斉藤(比)	友定(瀬)		遠藤(比)	福島(近)	坂下(水東)					
平成23年	中原(比)	和氣(比)	北浦(比)	苗村(近)	奥村(比)	稲葉(兄)		岡本(伊)	福島(近)	小島(草)					
平成24年	60kg	73kg	90kg	100kg	無差別	段外		52kg	70kg	無差別					
	野村(近)	松谷(瀬)	北浦(比)	花木(近)	浅野(近)	根来(比)		佐野(比)	勝見(近)	小島(草)					
平成25年	中原(比)	野村(近)	山本(瀬)	花木(近)	浅野(近)	藤澤(能)		佐野(比)	中島(伊)	古賀(近)					
平成26年	松下(近)	橋本(近)	足達(比)	北村(近)	西山(比)	小田(瀬)		西口(比)	伊藤(比)	清水(伊)					
平成27年	福田(比)	田中(比)	後藤(比)	岡本(近)	八木(比)	杉本(比)		瀧川(比)	西口(比)	清水(伊)					

# 滋賀県新人大会(兼 全国選抜大会県予選) 栄光の記録

## 団体戦

男子			
	1位	2位	3位
昭和41年	大津商	伊香	守山 甲賀
昭和42年	伊香	甲賀	大津商 日野
昭和43年	伊香	大津商	瀬田工 日野
昭和44年	伊香	八日市	瀬田工 大津商
昭和45年	伊香	膳所	比叡山 甲賀
昭和46年	守山	伊香	膳所 堅田
昭和47年	伊香	彦根工	瀬田工 膳所
昭和48年	伊香	比叡山	石山 虎姫
昭和49年	比叡山	伊香	甲賀 能登川
昭和50年	伊香	比叡山	水口 彦根東
昭和51年	比叡山	伊香	彦根工 彦根東
昭和52年	比叡山	伊香	彦根東 水口
昭和53年	比叡山	彦根東	膳所 伊香
昭和54年	比叡山	伊香	彦根東 膳所
昭和55年	伊香	比叡山	彦根東 膳所
昭和56年	比叡山	伊香	彦根東 長浜商工
昭和57年	比叡山	伊香	彦根東 堅田
昭和58年	比叡山	伊香	堅田 高島
昭和59年	比叡山	高島	伊香 膳所
昭和60年	比叡山	伊香	八日市 彦根東
昭和61年	高島	堅田	膳所 近江
昭和62年	比叡山	高島	膳所 近江
昭和63年	比叡山	近江	草津 膳所
平成 元年	近江	比叡山	草津 虎姫
平成 2年	比叡山	近江	草津 石山
平成 3年	近江	比叡山	草津 玉川
平成 4年	近江	比叡山	草津 八幡工
平成 5年	近江	比叡山	草津 長浜商工
平成 6年	近江	草津	比叡山 長浜商工
平成 7年	近江	比叡山	草津 高島
平成 8年	比叡山	近江	草津 八日市
平成 9年	草津	比叡山	近江 伊香
平成10年	近江	比叡山	高島 伊香
平成11年	近江	比叡山	草津 高島
平成12年	草津	近江	比叡山 伊香
平成13年	比叡山	草津	近江 伊香
平成14年	近江	草津	伊香 瀬田工
平成15年	近江	比叡山	草津 瀬田工
平成16年	近江	比叡山	伊香 瀬田工
平成17年	近江	瀬田工	伊香 比叡山
平成18年	近江	瀬田工	比叡山 伊香
平成19年	近江	伊香	比叡山 瀬田工
平成20年	伊香	近江	比叡山 草津
平成21年	近江	伊香	比叡山 瀬田工
平成22年	近江	比叡山	伊香 瀬田工
平成23年	比叡山	近江	瀬田工 伊香
平成24年	近江	比叡山	瀬田工 伊香
平成25年	比叡山	近江	瀬田工 伊香
平成26年	比叡山	近江	瀬田工 伊香
平成27年	比叡山	近江	瀬田工 伊香

男子			
	1位	2位	3位
昭和35年	伊香		
昭和36年	伊香	日野	高島 堅田
昭和37年			
昭和38年		近江	伊香
昭和39年	大津商	伊香	甲賀
昭和40年	伊香	大津商	長浜商工

\* 比叡山が近畿大会突破

\* 県1位校が、全国大会出場



女子			
	1位	2位	3位
平成16年	近江	比叡山	伊香 瀬田工
平成17年	近江	瀬田工	伊香 比叡山
平成18年	近江	瀬田工	比叡山 伊香
平成19年	近江	伊香	比叡山 瀬田工
平成20年	伊香	近江	比叡山 草津
平成21年	近江	伊香	比叡山 瀬田工
平成22年	近江	比叡山	伊香 瀬田工
平成23年	比叡山	近江	瀬田工 伊香
平成24年	近江	比叡山	瀬田工 伊香
平成25年	比叡山	近江	瀬田工 伊香
平成26年	比叡山	近江	瀬田工 伊香
平成27年	比叡山	近江	瀬田工 伊香

## 個人戦

全国選抜予選	男子個人					女子個人				
	-60kg級	-73kg級	-81kg級	-90kg級	無差別級	-52kg級	-57kg級	-63kg級	-70kg級	無差別級
平成21年	向江村(近)	太田(近)	藤本(近)	安田(近)	斎藤(比)	中西(比)	岡本(伊)	岡本(比)	福島(近)	坂下(水東)
平成22年	須川(近)	澤村(近)	北浦(比)	松本(瀬)	奥村(比)	峰本(近)	岡本(伊)	田中(近)	福島(近)	小島(草)
平成23年	野村(近)	松谷(瀬)	北浦(比)	橋本(近)	浅野(近)	神戸(近)	千代(近)	田中(近)	勝見(近)	小島(草)
平成24年	中原(比)	野村(近)	山本(瀬)	金本(比)	浅野(近)	佐野(比)	中島(伊)	中島(伊)	伊藤(近)	志賀(近)
平成25年	杉本(比)	橋本(近)	北村(近)	金本(比)	横田(近)	田尾(近)	福崎(比)	中島(伊)	森田(近)	清水(伊)
平成26年	杉本(比)	朝比奈(近)	橋本(近)	赤坂(近)	八木(比)	西口(比)	福崎(比)	伊藤(比)	森田(近)	清水(伊)
平成27年	-60kg級	-66kg級	-73kg級	-81kg級	無差別級	-48kg級	-52kg級	-57kg級	-63kg級	無差別級
	土田(近)	田中(比)	朝比奈(近)	山下(近)	北川(比)	上田(伊)	瀧川(比)	西口(比)	伊藤(比)	杉野(比)

滋賀県民体育大会（高校の部）  
 滋賀県新人大会（兼全国選抜大会県予選）  
 栄光の記録

団体戦

	男子				女子			
	1位	2位	3位		1位	2位	3位	
平成28年	近江	比叡山	瀬田工	綾羽	比叡山	近江	膳所	—
平成29年	比叡山	近江	瀬田工	伊香	比叡山	伊香	膳所	—
平成30年	近江	比叡山	瀬田工	伊香	比叡山	伊香	綾羽	
令和元年								

個人戦

	男子個人					女子個人				
	-60kg級	-66kg級	-73kg級	-81kg級	無差別級	-48kg級	-52kg級	-57kg級	-63kg級	無差別級
平成28年	福田(比)	水戸(比)	橋本(近)	毛利(比)	山本(比)	芳田(比)	瀧川(比)	久米(近)	藤田(近)	薬師山(比)
平成29年	福田(比)	松川(比)	佐藤(瀬)	日野山(比)	加藤(近)	芳田(比)	足立(比)	川上(比)	足達(比)	吉山(比)
平成30年	福田(比)	伊藤(近)	倉橋(比)	大迫(瀬)	桐畑(近)	野崎(比)	足立(比)	南平(比)	川上(比)	吉山(比)
令和元年										



令和元年(2019年)柔道専門部競技役員
----------------------

専門部長	山田 薫 (伊香高校 校長)			
顧問	平瀬 憲昌 (草津)	大橋 成年 (伊香)		
競技委員長	小林 重和 (能登川)			
同副委員長	三谷 忠義 (高島)	大橋 成年 (伊香)		
総務委員長	今井 達将 (綾羽)			
総務部 進行	今井 達将 (綾羽)			
記録	伴 禎 (高島)	山根 良行 (兄弟社)	古田 純一 (伊香)	
式典	渡邊 澄子 (比叡山)	坂下 和子 (甲南高養)		
広報	井谷 利之 (綾羽)			
審判長	平瀬 憲昌 (草津)			
副審判長	坂下 覚 (膳所)			
審判部 第1会場主任	坂下 覚 (膳所)			
第2会場主任	生駒 有史 (近江)			
審判員	南 睦志 (瀬田工)	上田 健二 (伊香)	大橋 成年 (伊香)	
	三谷 忠義 (高島)	小林 重和 (能登川)	林 正樹 (兄弟社)	
	小松 広典 (綾羽)	米富 和郎 (比叡山)	向江村和也 (近江)	
	坂下 星満 (能登川)	坂下 福満 (安曇川)	脇阪 博也 (伊香)	
	林 弘典 (びわこ成蹊大)	中体連審判員		
会場係長	川那辺敬司 (比叡山)			
会場係 第1会場	◎川那辺敬司 (比叡山)	藤井 恒太 (綾羽)	藤井 知 (兄弟社)	
第2会場	◎横山 佳代 (瀬田工)	井谷 利之 (綾羽)		
救護係 救護係	滋賀県柔道整復師会			
計量係 男子	生駒 有史 (近江)	米富 和郎 (比叡山)	脇阪 博也 (伊香)	
女子	坂下 星満 (能登川)	坂下 福満 (安曇川)	渡邊 澄子 (比叡山)	

# 令和元年度 滋賀県民総スポーツの祭典柔道競技 実施要項

～滋賀県高等学校柔道新人大会兼全国近畿大会予選～

- ◆会場 滋賀県立武道館（大津市におの浜四丁目2-15） TEL077-521-8311
- ◆開催日 令和元年11月16日（土） 男女団体試合  
令和元年11月17日（日） 男女個人試合
- ◆試合 1. 男女団体の部  
2. 男子個人の部 5階級（60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、無差別級）  
女子個人の部 5階級（48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、無差別級）
- ◆日程
- 1日目  
予備計量 ～ 9:00  
本計量 9:00 ～ 9:30 \*計量は1回のみ  
全体会議、役員会議 9:45 ～ 10:20  
開会式 10:20 ～  
男女団体試合
- 2日目  
予備計量 ～ 9:00  
本計量 9:00 ～ 9:30 \*計量は1回のみ  
全体会議、役員会議 9:30 ～ 9:50  
開始式 9:50 ～  
男女個人試合
- ◆試合規定
- 国際柔道連盟試合審判規定によっておこなう。(2018～)新規定
  - 試合時間は団体・個人試合とも、3分とする。
- 団体試合
- ①試合の勝敗判定基準は「技有」「僅差」以上とする。  
\* 僅差:「指導差が2」とする。 \* 一本勝ち=反則勝ち > 技有 > 僅差
  - ②チームの勝敗については要覧の別ページに定める。
  - ③同点、同内容の場合代表戦をおこなう。大将戦終了3分後におこなう。
- 代表戦の勝敗等は、全国高等学校柔道選手権大会、近畿高等学校柔道新人大会に準ずる。**
- [男子]  
\* 代表戦は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出しておこなう。  
\* 代表戦で得点差がない場合、ゴールデンスコア方式の延長戦をおこなう。  
「技有」以上または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。
- [女子]  
\* 代表戦は、「引き分け」対戦の中から抽選で選び、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限でおこなう。  
「技有」以上または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。  
\* 「引き分け」対戦がない場合、抽選によって選出する。
- 個人試合
- ①試合の勝敗判定基準は「技有」「僅差」以上とする。  
\* 僅差:「指導差が2」とする。 \* 一本勝ち=反則勝ち > 技有 > 僅差
  - ②試合終了時点で「技のスコア」が同等な場合、時間無制限のゴールデンスコアをおこなう。
  - ③累積による「同時反則負け」の場合のみ、時間無制限のゴールデンスコアによって勝者を決定する。
- ◆試合方法
- 〈団体試合〉
1. トーナメント戦によって優勝を決定するものとする。
- (男子)
1. 試合は勝ち抜き試合とする。
  2. 試合は5名で行い、試合ごとのオーダー変更を認める。
  3. オーダー提出は対戦校決定後、5分以内とする。
  4. 5.6位決定戦は、準々決勝で敗戦したチームでリーグ戦をおこなう。ただし、2校の場合は除く。

(女子)

1. 試合は3名の点取り試合とする。試合ごとのオーダー変更は認めない。
2. 先鋒:52kg以下 中堅:63kg以下 大将:無差別とする。
3. 体重の軽い者は、重い階級に出場できる。補欠は該当する体重区分に出場できる。

〈個人試合〉

1. 男女とも5階級とする。
2. トーナメント戦によって優勝を決定するものとする。
3. ただし、3人の場合、リーグ戦をおこなう。
4. リーグ戦で順位が同等の場合は、1本勝>技有勝>僅差勝の順に多い者を上位とする。
5. 女子は団体戦の体重区分の階級に出場できる。

◆参加資格

1. 滋賀県高等学校体育連盟柔道専門部に加盟している高等学校生徒であること。  
また、平成13年4月2日以降に生まれた者とする。
2. 転校後、6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)  
但し、一家転住等やむを得ない場合、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があれば、  
この限りではない。
3. 同一学年での出場は1回限りとする。
4. 出場選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を受けた者であること。

◆選手変更

1. 大会1日目の午前9時までに大会本部まで申し出ること。
2. 団体試合の選手変更は、男子は2名、女子は1名を限度とする。  
変更して登録を抹消された選手は個人戦には出場できない。
3. 個人試合の選手変更は認めない。

◆計 量

1. 男子は上半身は裸、ハーフパンツ着用とする。(柔道着の下穿きは着用不可)
2. 女子はTシャツ、ショートパンツとする。

◆表 彰

1. 団体試合 男女各チーム1位から3位までの入賞チームを表彰する。
2. 個人試合 男女各階級の1位から3位までの入賞者を表彰する。

◆出 場 権

1. 男女団体各優勝チーム、男女個人各階級優勝者が全国高等学校柔道選手権の  
出場権を与える。(ただし全国高等学校柔道選手権の要項に準じること。)
2. 男女団体各上位6チームは、近畿高等学校柔道新人大会の出場権を与える。  
(ただし近畿高等学校柔道新人大会の要項に準じること。)

◆申込締切

11月7日(木)の顧問会議開始の10時までとする。  
11月5日(火)までにE-mailで申込を済ませておくこと。  
**E-mail [kobayashi-shigekazu-4900@pref-shiga.ed.jp](mailto:kobayashi-shigekazu-4900@pref-shiga.ed.jp)**

◆その 他

- 〈会場準備〉近江、兄弟社、安曇川高校でお願いします。  
〈後始末〉全校、全生徒でおこないます。  
・会場は大切に使用し、ゴミ・破損等のないように心がけてください。  
・貴重品の管理は、各校、各自でしっかりして下さい。



## タイムテーブル

	第1試合場	第2試合場	備 考
1 日 目	受 付： 9：00 予備計量：                ~ 9：00 本 計 量： 9：00 ~ 9：30 開 会 式： 10：10		* 本計量は1回のみ  試合時間：3分  試合時間：3分  * 昼休憩前にMIND講演
	女子団体戦		
	準決勝		
	決勝		
	男子団体戦		
	1回戦	1回戦	
	5～8位順位決定戦		
	MIND講演・昼休憩		
	男子準決勝	男子準決勝	
	男子決勝		
	団体試合表彰式・閉会式		
	2 日 目	受 付： 9：00 予備計量：                ~ 9：00 本 計 量： 9：00 ~ 9：15 開 始 式： 9：50	
女子個人戦 ~ 準決勝戦			
48kg(3) 57kg(3)		63kg(3) 無差別(3)	
女子個人決勝(3)			
57kg 63kg 無差別			
男子個人戦 1回戦～準々決勝			
60kg(15) 66kg(12)		73kg(6) 81kg(8) 無差別(15)	
男子個人準決勝(10)			
60kg(2) 66kg(2) 73kg(2) 81kg(2) 無差別(2) 2会場で階級毎			
男子個人決勝(5)			
60kg 66kg 73kg 81kg 無差別			
個人試合表彰式・閉会式			

\* 競技の進行上、試合場を変更することがあります。

\* 昼食休憩は両日とも30分程度取ります。

\* 団体個人とも3位決定戦は行いません。

\* 試合進行については、審判部と総務部で協議の上、当日変更する場合があります。

## 高校柔道大会の服装について

### 柔道着

- 1 全日本柔道連盟試合服装規定・国際柔道連盟服装規定が定める柔道着であること。
- 2 全柔連規格 IJF(国際柔道連盟)公認モデルの認証番号があるものとする。

例: JU0028、JU0052、IJF公認マークなど

\* 柔道着とは上衣、ズボン、帯の3つである。

- 3 帯の刺繍について

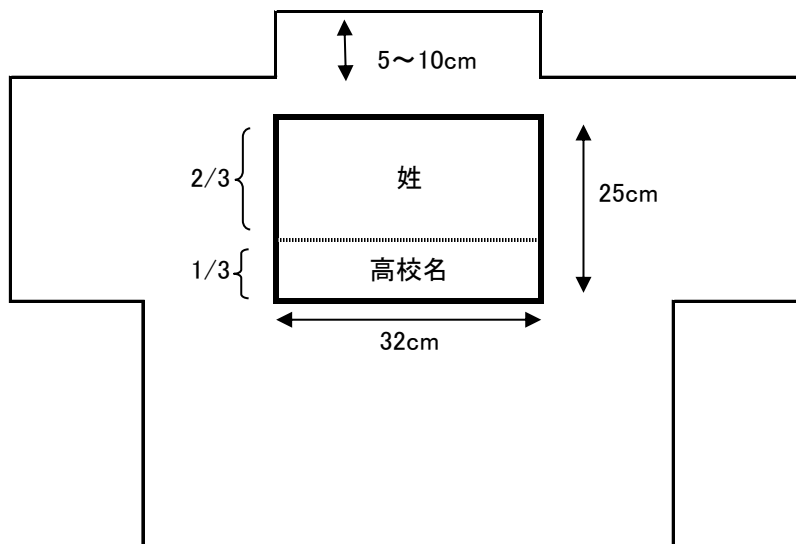
国内試合の場合

- ① 帯の一方に「個人名」もう一方に「学校名」「贈〇〇」等の表現は表示してもよい。
- ② 帯中央への表示は表裏にかかわらず、いかなる文字も許可されない。
- ③ 信条や四字成句などの表現は不可である。「闘魂」×「獅子奮迅」×
- ④ 女子は白線入りの帯を使用すること。

\* 国際試合では、一方にしか表示できない。名前のみである。

### ゼッケン

- 1 大会に出場する選手は、必ず規定の要項にしたがってゼッケンを柔道衣の背中に縫いつけてなければならない。
- 2 布地は晒太綾(さらしふとあや)を使用すること。
- 3 サイズは横32cm、縦25cmとする。
- 4 姓は上側2/3、校名は下側1/3の部分に、横書きで男子は黒字、女子は赤字で書くこと。
- 5 縫いつけ方法については下記の図を参照すること。※強い糸で縫いつけること。
- 6 ただし、当分の間は従来の大きさでもよい。



**女子** 試合者は上衣の下に、相当の長さのある、次のいずれかを着用すること。

- 1: アンダーシャツは、白色無地、丸首のTシャツまたレオタードであること
- 2: アンダーパンツは膝までの丈であること

**男子**

アンダーパンツは膝までの丈であること

ゼッケンのない選手は、試合に出場できない。

## 大会参加者に望む

1. 滋賀県高等学校柔道大会は、学校における教育活動の一貫として行われるもので、単に勝敗のみを争うものではない。このことは大会に対する滋賀県高体連柔道部創立以来の一貫した姿勢で、たえずこの具体化を検討し、望ましい大会のあり方を追求して今日に至っている。大会参加の諸君は、滋賀県高体連柔道部のこの基本姿勢を理解されるとともに、下記の事項に留意し、高校生にふさわしい理想の大会の実現に協力を願う。
  - (1) 大会を開催する地元のご苦労に感謝し、会場を汚したり破損したりすることのないよう注意してもらいたい。
  - (2) 会場までの列車内でも街頭でも高校生として、また柔道選手としての誇りを忘れないでほしい。
  - (3) 勝負を決するための積極的な試合展開をしてほしい。勝負を決しようとしめない試合は、その意義を失い、技術の進歩もあり得ない。真摯敢闘、自己の最善を尽くしてこそ観衆に感動を与え、選手自身にとっても無上の満足感を与えるものである。
  - (4) 柔道着は、出場前に十分点検し、規定にふれることのないようにしておくこと。また、髭、頭髪などは、不快な感じや異様な感じを与えないように注意すること。

## 監督に望む

- (1) 大会会場ばかりでなく、会場までの途上にわたって選手を監督・指導されたい。なお、応援の保護者、関係者に対してもすべての責任を負う。
- (2) 選手に対する指導・助言は節度あるものとし、試合の前後に選手に対する指導・助言は十分に行い、試合中は選手の意思を尊重するようにされたい。
- (3) 大将戦においては、控え選手を全員、正座させるように指導されたい。
- (4) なお、大会中の服装は審判員の服装に準ずることが望ましい。

## 応援者に望む

- (1) 応援は選手の志気を高めるものであるが、審判員の適正な判断と大会運営の妨げにならないように節度あるものにしていただきたい。
- (2) 審判員や選手に対する暴言や品位を傷つけるような言動は絶対にしないでいただきたい。
- (3) 大会本部席前での応援は、大会運営上の支障になるので、指示された場所でする。

## 県立武道館 使用上の注意

- 1 会場準備に当たっている学校は9時に集合して下さい。
- 2 後始末は全員で行います。
- 3 靴は各自ビニール袋に入れて更衣場所へ持っていくこと。
- 4 傘は玄関に間違わないように置いておくこと。会場内に持ち込まない。
- 5 館内においては高校生は武道館のスリッパを使用しない。
- 6 更衣は男子は団体リーグ戦の会場上のギャラリーで、女子は指定の更衣室で行うこと。
- 7 使用場所は柔道エリアに限る。他会場やロビーなどに行かない。
- 8 貴重品は各校で責任を持って保管すること。万一紛失しても専門部では責任をとらない。
- 9 各校で出したゴミは、各校・各自で責任を持って持ち帰ること。
- 10 会場へ入場は団体戦は出場校のみ、個人戦においては次に出場予定の5名までとする。その他の選手はギャラリーで観戦すること。会場が狭いので、試合がスムーズに運べるように、特にこの点を守るようお願いしたい。
- 11 本部席前(正面)は通ったり、座ったりしないようにする。
- 12 便所の下駄は次に使う人のことを考えて、きちんとそろえておくこと。
- 13 その他分からない点が生じたら、顧問の先生か、大会本部まで申し出ること。

◎武道館を美しく、大切に使うために、以上のことをしっかり守って下さい。

## JUDO MIND

刀を作るとき、鉄を真っ赤焼く、熱いうちに打たなければいい刀ができない。何度も何度も叩くうちに不純物が打ち払われていくのだ。強い刀はこうしてできあがる。

人間も同様、純粋な気持ちを持つ高校時代に鍛え、知識を叩き込み、成し遂げるのが一番いい。頑張ろうと心に決めている「今」時間をおかずにその決意が熱いうちに「やれるだけのことはやれ。」

人生とは毎日が訓練である  
わたくし自身の訓練の場である  
失敗もできる訓練の場である  
生きていることを喜ぶ訓練の場である  
いまこの幸せを喜ぶこともなく  
いつどこで幸せになれるか  
この喜びをもとに全力で進めよう  
わたくし自身の将来は  
いまこの瞬間にある  
いまここで頑張らずにいつ頑張る

京都大徳寺大仙院尾関宗園和尚 『いまこそ出発点』 より